

気づき、考え、実行する さし人つつしん



学校HP

唐津市立佐志小学校
学校だよりNO.17
令和5年12月6日
文責：校長 松野克己

5年生海洋学習



5年生が、佐志小学校の特色となっているワカメの養殖体験を今年度も唐房地区の漁業関係者の方が中心となっている「からふさ研究会」のお世話で11月24日(金)に実施しました。昨年度から市政策部、九州大学、JAL「ふるさと応援隊」の方も加わり、地域産業学習に環境学習、さらにはキャリア教育の要素が加わり、学校としては、大きなプロジェクトとなっています。

まず、体育館で玄海水産振興センターの梅田さんからワカメの成長の仕方などのお話を聞きました。顕微鏡でしか見えない胞子が大きなワカメに成長するわけですから、考えてみると大変なことです。次に九州大学の早淵先生から地球温暖化に対するブルーカーボン生態系の一つであるワカメの果たす役割について、分か

りやすくお話していただきました。さらにJALからは飛行機に関する仕事や、飛行機の燃料であるSAFについての説明がありました。あの大きな飛行機の燃料の一部に廃油や廃材が使われていることに加え、これによって温室効果ガスを大幅に減らせることに驚きました。

この後、体育館から校舎東側の防波堤に移動しましたが、前日とは打って変わっての冷たい空気に震え上がるほどでした。そんな中で胞子の



ついた細いロープを太いロープに巻き付ける種付け作業をしました。どの子も要領よくやっていました。2月には収穫となりますが、おそらくワカメの成長に驚くことでしょう。最後に海岸清掃をしてこの活動を締めくくりました。昨年度同様、たくさんのゴミが集まりました。ペットボトルや空き缶はまちがいなく人間がポイ捨てしたものですし、ビニールやプラスチックは自然分解せず蓄積されます。やっぱり、ゴミを捨てないことが最も重要です。



3年生豆腐づくり



ました。また、こしたときにできたおからから、デザート感覚のおかずを作っていただきました。肥前町から来ていただいた山添さんと松田さんに感謝です。

同じ11月24日(金)、3年生は家庭科室で豆腐づくりをしました。国語で「すがたをかえる大豆」という学習をするので、この豆腐作りはその発展学習としてもってこいの活動になります。5年生の甘夏ジュレーづくりと同じ「ふるさと先生事業」で申し込んでいたところ、運良く実現することになりました。

水を吸わせ膨張した大豆をミキサーにかけ、それを温めてこした豆乳に、今回はにがりではなく、浄化した海水を入れて固めるという行程を通して、全く別の姿になる様子を実際に体験して学ぶことができました。また、昔の人の知恵を学ぶいい機会にもなりました。実際に食してみると、大豆のいい香りもしましたし、自然の塩味も感じ取ることができ



明治食育出前授業

11月28日(火)に株式会社「明治」の食育担当である藤原さんに食育の授業をしていただきました。ご存じの通り「Meiji」はお菓子の会社でもありますし、乳製品でも



有名ですね。この授業を受けたのは1・2・4年生で、それぞれ1時間ずつ学年に応じた食育の授業をしていただきました。その中で4年生は成長期にさしかかった年齢ということもあって、骨の成長について分かりやすく教えていただきました。その中で私が知らなかったのは、40歳頃までは、約3年で全ての骨が新しいものに作り替えられるということ。つまり今、体を支えている骨は3年後には全く新しくなっているということです。ですから、成長期にはその骨を大きくするために、逆に40歳を

過ぎた頃からは骨量の減少を防ぐための対応が必要になるそうです。これから成長期を迎える子ども達には、骨量を増加させるために、カルシウムやタンパク質をしっかりと摂取することが大切とのこと。特に給食のない日のカルシウム摂取量が少ないそうです。これから数年間でぐんと大きくなる子ども達ですから、その元となるものをしっかりと食べさせたいですね。私は骨粗鬆症にならないよう、毎日乳製品を口にしようと思います。



低学年バスケットボール教室

12月4日(月)は、プロ選手によるバスケットボール教室を低学年で行いました。唐津を拠点とする女子3人制バスケットボールチーム「レオナイナーズ」から

は正木さん、男子の「レオブラックス」から小堺さん、藤根さんの3名に来ていただきました。このうち、正木さんには昨年度も来ていただき6年生が楽しくバスケットボールを楽しみました。地元、佐志の方ですからご存じの方も多と思います。対象は低学年ですから、バスケットボールの試合とはいきませんが、普段トレーニングに取り入れている運動など、体を動かす楽しさを伝えてもらいました。正木さんはじめ3名の講師の方からも「楽しんでできました。」という感想をいただき、みんなが楽しめるいい時間になったようです。



佐 2023 学校教育目標

自分も他者も大切にできるさっし子になるう!

じぶん たしや たいせつ

心を大切にする

- 命を大切にする子
- 素直に考えを聞き、はんだんできる子
- 相手を思いやり、よさをみとめる子
- 折り合いをつけ、問題をかいついでできる子

健全健康を大切にする

- 善悪のはんだんを元に、行動できる子
- 進んであいさつや返事ができる子
- 進んで運動に取り組み子
- 互いに健康や安全に気をつける子

学びを大切にする

- 意欲的に学習に取り組みとめる子
- 根気強く考えることのできる子
- 考えをみとめ合い、高め合う子

左は年度当初に掲げ、児童に伝えた「目指す児童の姿」です。今年度の三分の二を終え、「自分も他者も大切にできるさっし子」に近づいているか、各学級で自己評価の時間をとることにしました。

自分を大切にするというのは、決して自己中心的な姿ではなく、自分自身を高めようとするあり方です。また、他者を大切にするというのは相手のよさを認め尊重し、折り合いをつけていこうとする姿です。これは、これからの社会を生きていく上で、確実に必要とされる資質能力であり、今後も学校でのあらゆる活動を通して身に付けさせたいと思っています。